

第2節 青少年教育

1 概要

今日、青少年のもつ価値観は多様化し、また、連帯意識の希薄化などによりさまざまな問題が提起されている。

このため、青少年の自主性、耐性を培い、社会連帯意識を育むための多様な活動への参加促進と指導者の養成充実に努めてきた。

少年教育においては、少年教室の開設促進と豊かな生活体験ができる学習内容の充実に努めるとともに、長期にわたる自然生活へのチャレンジ活動の実施と地域において主体的な社会参加活動の促進に努めてきた。

また、青年教育においても、青年学級・教室の開設促進による学習機会の充実とともに、青年（主として在学青少年）の地域における社会参加活動を促進するボランティア活動事業、さらに、青年活動の活性化を目指した勤労青年の研修事業等の充実に努めてきた。

今後は、家庭・学校・地域社会の連携を強めるとともに、青少年の望ましい成長発達を阻害する諸要因の除去や指導者研修等で養成した指導者を活用するなど、多様な地域実践活動が展開できるよう一層の努力が必要である。

2 自然生活へのチャレンジ推進事業

(1) 青少年自然体験活動推進会議

① 期日・場所

第1回 5月17日(火) 西庁舎

第2回 11月15日(火) 西庁舎

② 委員 12名

③ 内容

- 事業の全体計画の策定
- 関係機関・団体等の連絡調整
- 事業の成果の検証、報告書の作成

(2) 青少年自然体験推進指導者研修会

① 期日・場所

6月16日(休)～18日(土) 北塩原村小野川

② 対象

青少年指導者 30名

(3) 自然に挑戦／フロンティア・アドベンチャー

① 期日・場所

7月24日(日)～8月2日(火)(9泊10日キャンプ)

北塩原村小野川・郡山少年自然の家(24日のみ)

② 参加者

小学5年生～中学2年生 50名(男35名、女15名)

指導者 49名(教育委員会、公民館職員、教員、団体指導者、大学生他)

③ 内容・活動

- 開拓と設営
- 猫魔ヶ岳登山
- 丸太小屋作り
- 原始生活体験
- 不動沢探検
- 登山等。

(4) 青少年自然体験推進研究協議会

① 期日・会場

方 部	期 日	会 場	参加者数
中通り	10月20日(木)	サンライズもとみや 本宮町中央公民館	190名
会 津	9月20日(火)	河東町公民館	147名
浜通り	10月12日(水)	檜葉町 コミュニティセンター	198名

② 対 象

少年団体関係者、市町村教育委員会関係者、学校教育関係者、PTA会員、少年教育関係者、青少年健全育成関係者

③ 内容・活動

- 講演
- 自然体験発表
- 研究協議

3 少年教室補助事業

(「ふるさと文化ふれあい教室」運営費補助)

(1) 開設市町村・教室名・場所

管 内	市 町 村	教 室 名	場 所
県 北	伊 達 町	ふるさと文化ふれあい教室	公民館 町内
	岩 代 町	岩代町ふるさと文化ふれあい教室	公民館 町内
県 中	石 川 町	ふるさと文化ふれあい教室	公民館 学校、町内
	滝 根 町	ふるさと文化ふれあい教室	公民館 町内、他
県 南	中 島 村	ふるさと文化ふれあい教室	公民館 村内、他
	熱 塩 加 納 村	ふるさと文化ふれあい教室	公民館 村内、他
会 津	会 津 高 田 町	ふるさと文化ふれあい教室	公民館 体育館、他
	南会津 館 岩 村	ふるさと文化ふれあい教室	公民館 学校、他
相 双	川 内 村	ふるさと文化ふれあい教室	公民館 他
	いわき いわき市	ふるさと文化ふれあい教室	公民館 他

(2) 対象人員・時間数

小・中学生、高齢者 30人以上 20時間以上

(3) 期 間

市 町 村	開設期間	対 象 者 ・ 人 員	時間数
伊 達 町	6月13日 ～1月25日	小4・5・6年、高齢者 50名	43時間
岩 代 町	7月2日 ～3月12日	小・中学生、高齢者 80名	42時間
石 川 町	5月2日 ～1月21日	小5・6年、高齢者 35名	29時間
滝 根 町	6月26日 ～2月26日	小・中学生、高齢者 50名	56時間
中 島 村	5月21日 ～2月5日	小・中学生、高齢者 80名	23時間